

高根沢町外国語指導助手派遣業務プロポーザル

審査方法・審査基準

1 審査方法

- (1) 審査は、高根沢町外国語指導助手派遣業務プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）が行う。
- (2) 審査方法は、業務提案書の内容に基づいたプレゼンテーション及びヒアリングによる。
- (3) 審査委員会の各委員が3の審査基準に従い点数化して個別に審査し、全委員の点数を合計して得点の高い者から順位付けを行うものとする。なお、同点の場合は、全委員の「5. 取組意欲」の点数を合計して得点の高い者を上位とする。
それでもなお同点であった場合は、審査委員会が審議し、理由を付して順位を決定するものとする。
- (4) 満点の10分の6に達しない点数を付けた審査委員が過半数となった参加者については、順位付けを行わないものとする。

2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーションの実施要領は、次のとおりとする。

- ・プレゼンテーション及びヒアリング実施時の説明者は、本業務における高根沢町担当コーディネーターとする。ただし、病休等のやむを得ない理由により欠席を余儀なくする場合は、変更後の出席者を町へ申し出た上で承諾を得ること。
- ・プレゼンテーション及びヒアリング実施会場への入室は高根沢町担当コーディネーターを含めて最大3名までとする。
- ・プレゼンテーションの時間は、20分以内とし、説明する順番は「高根沢町外国語指導助手派遣業務プロポーザル実施要領」12(2)に記載された業務提案内容順とする。また、説明時間の配分は説明者において任意に設定すること。
なお、説明時間が20分を超過した場合は、説明の途中でプレゼンテーションを打ち切ることとする。
- ・プレゼンテーション後、質疑応答の時間を20分程度設けるものとし、質疑応答の内容も審査に含めるものとする。なお、提出書類の内容について質疑を行うこともある。
- ・プレゼンテーションにおいて説明・提案する内容は業務提案書に記載されている事項とし、プレゼンテーションの場における新たな提案はできないものとする。
- ・プレゼンテーションにあたり、プロジェクターの使用を認める。この場合において、投影できる内容は、業務提案書に記載の内容（図表を含む）、構成に限るものとする。なお、原則としてプロジェクターや端末等の機材は参加者自身が準備することとするが、事前に申出があった場合に限り、町が所有するプロジェクター（EPSON EB-W06）を

使用することができる。

- ・プレゼンテーションの日時については、実施の 1 週間前までに、プロポーザル事務局が参加者に対し個別に通知するものとする。

テーマ	ページ数	提案（記載）内容
1. 会社概要	1 ページ	・ALT 業務の営業年数、令和 6（2024）年 4 月 1 日からの実績 ・会社の理念や方針 ・高根沢町からの要望及び緊急事態等において迅速に十分な対応ができる体制
2. 採用・研修体制	1 ページ	・採用方法について（採用体制・基準・条件等） ・採用前後の研修について ・指導力が不足している ALT へのフォロー研修について
3. 管理体制	2 ページ	・ALT の勤務状況等の把握及び町への共有体制 ・ALT サポート体制（メンタル面・生活面を含む） ・要望、苦情への対応 ・欠勤及び欠員への対応状況 ・ALT への勤務状況への評価及びその後の対応
4. 業務に対する取り組み	2 ページ	・学習指導要領に対応した教材・教具の開発や指導方法等の研究体制 ・教員との事前打ち合わせや授業準備の確保
5. 取組意欲	2 ページ	・高根沢町の英語教育発展のための事業 ・イマージョン活動における事業内容 ・イマージョン活動当日の、開催校以外の学校で授業を円滑に行うための方策 ・高根沢町の英語力向上のための事業
合計	8 ページ	

3 審査基準

	評価項目	評価の着目点	配点
1	会社概要	・ALT 業務の営業年数、令和 6（2024）年 4 月 1 日からの実績は妥当であるか。 ・学校教育全体への理解及び学習指導要領や町の教育基本計画への理解があるか。 ・コンプライアンス（法令遵守）の基本方針の説明があり、取り組みが分かるものか。	10

2	採用・研修体制	・採用方法（採用体制・基準・条件等）は適切であるか。 ・採用前から採用後まで、ALT の指導力や日本の教育情勢、高根沢町の求める英語力への理解を深めるための研修が、体系的かつ継続的に計画されているか。 ・指導が未熟だと思われるものに対するフォロー研修等に行われるか。 ・日本人教諭との打合せができる程度の日本語運用能力を有していたり、教育に携わるものとして自覚や協調性を有していたりする質の高いALT を確保しているか。	20
3	管理体制	・ALT の勤務状況等、配置校への定期的な訪問や聞き取り状況及び町や学校へのフィードバックができるか。 ・ALT の住居等生活面やメンタルヘルス対策などのサポート体制は整っているか。 ・町、学校、保護者等からの要望、苦情等に適切な対応ができる体制となっているか。 ・一時的な欠勤への代理 ALT 派遣や、欠員発生時の後任補充は、迅速かつ質の高い対応が可能か。 ・ALT への勤務状況への評価及びその後の対応については具体的なフォロー等ができるか。	20
4	業務に対する取り組み	・学習指導要領や町の教育基本計画に対応した教材・教具の開発や指導方法等の研究体制が適切か。また、教材や指導方法等を町に共有できる体制があるか。 ・教員との事前打ち合わせ等、授業を円滑に進めるための準備行為が適切であるか。 ・教員の負担軽減ができる内容か。	30
5	取組意欲	・イマージョン活動において、高根沢町外国語教育の充実に資する事業を展開することを期待できるか。 ・イマージョン活動当日の、開催校以外の学校で授業を円滑に行える方策があるか。 ・その他、高根沢町の英語力向上のための事業の提案があるか。	30
合 計（採点 1 人あたり）			110